

令和2年度 文部科学省

専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業

成果報告書

令和3年2月

学校法人桜水会 土浦看護専門学校

目次

1 事業概要	1
1.1事業の趣旨・目的等について.....	2
1.1.1事業の趣旨・目的.....	2
1.1.2学習ターゲット・目指すべき人材像.....	3
1.2事業背景.....	3
1.2.1看護師の2025年問題と潜在看護師.....	3
1.2.2看護師等免許保持者の届出制度と潜在看護師の復職支援の課題、学び直しが進んでいない原因.....	4
1.2.3潜在看護職員の学び直しニーズ.....	4
1.2.4eラーニングを活用した学び直し講座の必要性.....	6
1.3事業実施.....	7
1.3.1実施体制.....	7
1.3.2実施内容.....	8
1.3.2.1実施委員会と分科会.....	9
1.3.2.2開発.....	13
2 開発報告	14

2.1開発概要..	15
3 参考資料 ..	20
3.1コマシラバス.....	21
3.2収録講義.....	30
3.3実証講座の使用資料.....	33

1 事業概要

1事業概要

1.1事業の趣旨・目的等について

1.1.1事業の趣旨・目的

団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、3～13万人の看護職員が不足するといわれている（2025年問題）。一方、看護師国家資格を持ちながらその職に就いていない潜在看護職員は約71万人いるとされている。この潜在看護職員の1～2割が復職すれば2025年の不足分は充当される。しかし、現状では、看護師等免許保持者の届出制度は十分に機能しているとは言えない。そのために、復職意欲を喚起したり、各種研修への参加を促したりする働きかけが十分になされてはおらず、復職のための学び直しも進んでいるとは言えない。

そこで、本事業では、平成30年度からの3年間をかけて、専門学校と病院・福祉施設や関連団体との連携体制により、eラーニングを活用した学び直し講座を通して、潜在看護師の復職を支援するモデルの構築を提案した。この学び直し講座では、復職意欲のある潜在看護職員の掘り起こしから、看護知識の確認や職業意識等の醸成、キャリア形成等のカリキュラムを通して看護復職者を支援する。この潜在看護師の復職支援モデルを継続的にかつ他地域へも広域的に展開していくことで、潜在看護師の円滑な復職やキャリア形成を支援し、2025年問題の解消に貢献する。

1.1.2学習ターゲット・目指すべき人材像

出産や育児等により休職中の潜在看護師を対象として、復職意欲を喚起し、身に付けている看護の基礎知識と専門技術を基に自らのキャリアプランを明確にして、病院や施設での中核人材として活躍できる看護師を育成する。

1.2事業背景

1.2.1看護師の2025年問題と潜在看護師

厚生労働省によると、平成28年末時点における看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業者数は、約166万人となっている。団塊の世代が後期高齢者となる平成37年（2025年）には、看護職員は196万人～206万人必要であるとされている。就業者数は年間平均3万人で推移しているが、このペースで今後増加していても、平成37年には3万人～13万人が不足すると考えられている¹。

一方、看護職員の国家資格を保持していながらその職に就いていない者、即ち潜在看護職員は、平成22年末時点で約71万人いるとされている²。この潜在看護職員の1～2割が復職すれば、平成37年の不足数をカバーできる。

¹ 厚生労働省看護職員確保対策

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000095525.html>平成30年6月閲覧

1.2.2 看護師等免許保持者の届出制度と潜在看護師の復職支援の課題、学び直しが進んでいない原因

看護職員のうち就業している者については、2年に1度、「業務従事者届」が保健師助産師看護師法に基づき義務付けられている。ところが、就業していない者、即ち、潜在看護師についてはその実態を把握する仕組みがなかった。そこで、平成27年10月1日に改正・施行された「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、潜在看護職員は連絡先等の情報を、都道府県の「ナースセンター」に届け出ることが努力義務と定められた²。これにより、都道府県ナースセンターは、届け出られた情報をもとに潜在看護職員とつながりを保ち、求職者になる前の段階から、個々の状況に応じて復職への働きかけを行うことができるようになった。

平成30年3月31日時点の看護師等の離職時等の届出者数（累計）は、68,580人であり、このうち「就業者・就業予定」が24,214人（35.31%）、「就業していない・就業していないが休職中」は、35,895人（52.34%）である。また、看護職の職業紹介を受けられるeナースセンターへの登録を「希望する」人数は27,881人（40.65%）、「希望しない」とする人数39,956人（58.26%）である³。

このことから、看護師不足を補うための復職支援の施策としては、復職意欲の喚起からキャリア形成支援までを含めた取組が必要といえる。

1.2.3 潜在看護職員の学び直しニーズ

ここで、潜在看護職員の学び直しに関するニーズについて確認しておきたい。宮崎県の西諸地域（小林市、えびの市、高原町）を対象とした地域を限定した調査ではあるが、学校法人宮崎総合学院が平成27年度文部科学省成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業「看護師の新しい職域に参画する女性の学び直しキャリア教育プログラムの開発と実証」において実施した看護師に対する復職・キャリアアップ等に関する意識調査によると、離職経験のある看護師が復職する際にあると良いと思う支援の内容について、「専門技術の再訓練」（128件）、「復職支援について相談できる相手の設定」（122件）が多く回答されている（回答総数399件、上位2つまで回答）。

さらに、本事業で平成30年度に実施した看護師および離職中の潜在看護師を対象の調査アンケート（回答数241件）でも、「専門技術の再訓練」（88件、構成比36.5%）、「現代医

療事情の講義」(71件、29.5%)、「復職支援について相談できる相手の設定」(66件、同
比27.4%)が回答上位を占めた。このことから、潜在看護職員のニーズに合った教育環境が
十分でないこと、及び、復職に関する相談相手が身近に少ないことがわかる。これも、潜在
看護職員の学び直しが進んでいない原因として考えられる。

2 厚生労働省看護師等免許保持者の届出制度

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000095486.html>平成30年6月閲覧

3 平成29年中央ナースセンター資料 [https://www.nurse-](https://www.nurse-center.net/nccs/scontents/NCCS/html/pdf/h29/129_3.pdf)

[center.net/nccs/scontents/NCCS/html/pdf/h29/129_3.pdf](https://www.nurse-center.net/nccs/scontents/NCCS/html/pdf/h29/129_3.pdf)

1.2.4eラーニングを活用した学び直し講座の必要性

本事業初年度に実施した調査アンケート（回答数241件）によれば、復職の際の問題点として上位に挙げられた回答は、「家庭との両立」（99件、構成比41.1%）、「ブランクによる知識・技術の遅れ」（81件、33.6%）、「職場の人間関係」（79件、32.8%）であった。課題解決のためには、eラーニングを用いた時間・場所にとらわれない学習環境と、集合学習やSNSによるコミュニティ機能によって学習内容や復職に関することなどを自由に相談し合える環境とを組み合わせた学び直し講座により、復職意欲の喚起から専門知識・スキルの向上、復職やキャリア形成支援までを一貫して行う取組が必要となる。

本事業では、現場復帰意向のある潜在看護師の円滑な復職を支援する教育プログラムを開発・実施し、専門学校が潜在看護師の掘り起こしと女性の社会参画を促進するモデルを提案することを目指した。

1.3事業実施

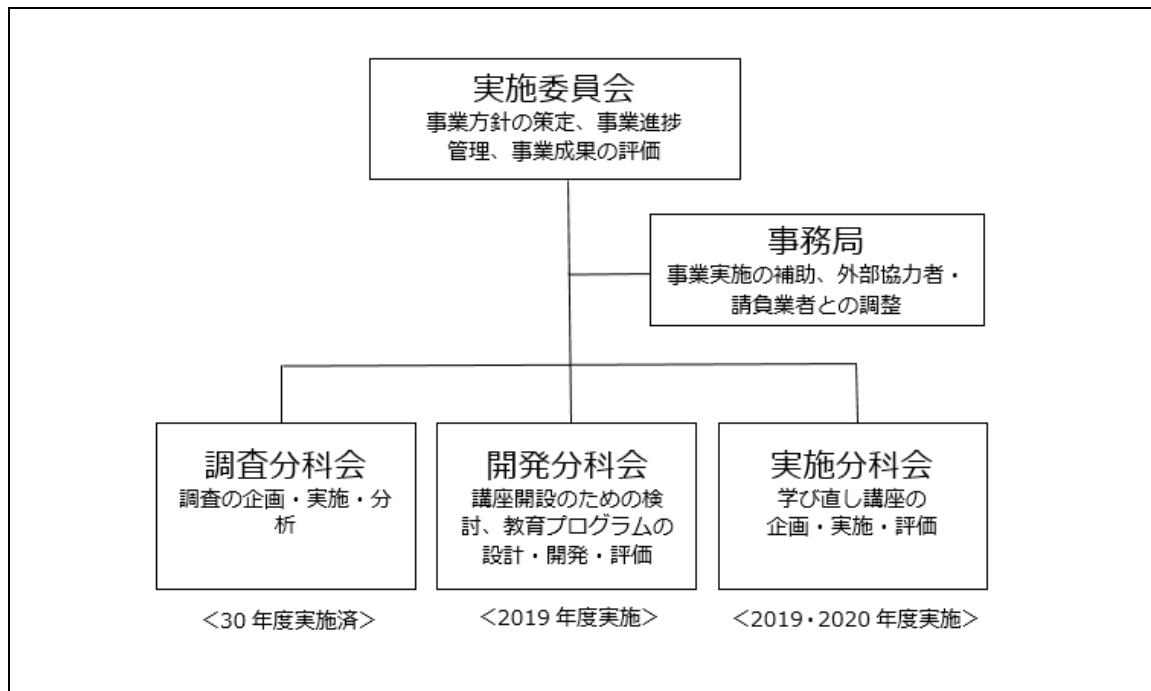
1.3.1実施体制

本事業では、以下のような構成機関からの参画者により実施委員会を組織し、事業を推進した。

	構成機関（学校・団体・機関等）の名称	役割等	都道府県名
1	学校法人桜水会 土浦看護専門学校	事業統括	茨城県
2	学校法人宮崎総合学院 小林看護医療専門学校	開発	宮崎県
3	学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校	開発	北海道
4	一般社団法人北九州市小倉医師会 北九州市小倉看護専門学校	開発	福岡県
5	医療法人社団桜水会 筑波病院	開発・実証	茨城県
6	公益社団法人取手市医師会 取手北相馬保健医療センター医師会病院	開発・実証	茨城県
7	社会医療法人社団蚩水会 名戸ヶ谷病院	開発・実証	千葉県
8	社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院	開発・実証	茨城県
9	医療法人聖和会 つくば病院	開発・実証	茨城県
10	公益社団法人茨城県看護協会	評価	茨城県
11	一般社団法人日本環境保健機構	評価	東京都
12	一般財団法人福祉教育支援協会	評価	埼玉県
13	株式会社東京リーガルマインド	評価	東京都
14	メディカル・ソリューションズ・ジャパン	評価	福岡県

図表 1 委員会構成機関

事業の実施体制(イメージ)



実施委員会の構成機関から分科会を設置

1.3.2実施内容

本事業では、平成30年度に実施したアンケート調査および事例調査を経て、令和元年度にカリキュラム設計と科目講義の収録を行い、令和2年度は以下の取組を実施した。

- 実施委員会、開発分科会、実施分科会
- 開発
 - ①集合型学習カリキュラムの開発
- 実証
 - ①モデルカリキュラムの実施・検証

以下、各取組の概略について報告する。

1.3.2.1実施委員会と分科会

会議名①	実施委員会		
目的・役割	事業方針の策定、事業進捗管理、事業成果の評価		
検討の 具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進計画(スケジュール、役割分担等)の検討、具体化 開発・実証の実施時期や参画機関の役割分担を検討・決定し、それに基づいた事業進捗の確認と、必要に応じて各分科会への助言等を行う。 ・開発の企画や設計、仕様等に関する評価、承認 各分科会で検討・決定した調査・開発の企画・設計・仕様について、事業趣旨や事業期間、予算等の面から評価を行い、妥当であると認められる場合にはそれを承認し、必要に応じて各分科会へ助言等を行う。ここで承認された企画・設計・仕様を基に、調査・開発の実作業が行われる。 ・開発による成果物の評価、承認 開発の成果物について、企画・設計・仕様と適合したものであるか評価し、妥当であると認められる場合にはそれを承認し、必要に応じて各分科会へ助言等を行う。ここで承認されたものが、事業成果物となる。 		
委員数	14人	開催頻度	2回

実施委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県
1	高嶋真希子	土浦看護専門学校・副学校長	事業統括	茨城県
2	川越宏樹	小林看護医療専門学校・理事長	調査・開発	宮崎県
3	前鼻英蔵	札幌医学技術福祉歯科専門学校・理事長	調査・開発	北海道
4	溝道裕子	北九州市小倉看護専門学校・副学校長	調査・開発	福岡県
5	矢中豊子	筑波病院・看護部長	調査・実証	茨城県
6	藤田あけみ	取手北相馬保健医療センター 医師会病院・副病院長兼看護部長	調査・実証	茨城県
7	久慈悦子	名戸ヶ谷病院・看護局長	調査・実証	千葉県
8	木樽京子	つくばセントラル病院・看護部長	調査・実証	茨城県
9	高橋恵美子	つくば病院・看護部長	調査・実証	茨城県
10	相川三保子	茨城県看護協会・会長	評価	茨城県
11	高尾和宏	日本環境保健機構・専務理事	評価	東京都

12	最上義	福祉教育支援協会・代表理事	評価	埼玉県
13	唐沢隆弘	東京リーガルマインド・執行役員	開発	東京都
14	隈本寿一	メディカル・ソリューションズ・ジャパン・代表者	開発	福岡県

会議名②	開発分科会		
目的・役割	開発の企画、設計、開発成果のとりまとめ		
検討の 具体的内容	<p>・学び直し講座開設のための検討、検討結果のとりまとめ 学び直し講座開設のために整理が必要な事項についての検討を行い、検討結果をとりまとめる。また、必要に応じて実施委員会からの助言を反映させ、修正等を行う。この検討結果を基に、教材開発を行う。</p> <p>・講座コンテンツの設計、開発のとりまとめ 開発したモデルカリキュラム(コマシラバス)に従い、講座コンテンツとして必要となる教材や講師選定等について検討し具体的な設計を行う。令和2年度の検討すべきアウトプット項目は、確認テスト、ピアミーティング用資料、ケーススタディ教材など。開発分科会が設計した内容を実施委員会が評価し、承認が得られれば実作業に移行する。また、必要に応じて実施委員会からの助言を反映させ、設計の修正等を行う。</p>		
委員数	6人	開催頻度	3回

開発分科会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県
1	高嶋真希子	土浦看護専門学校・副学校長	主査	茨城県
2	矢中豊子	筑波病院・看護部長	実証	茨城県
3	藤田あけみ	取手北相馬保健医療センター 医師会病院・副病院長兼看護部長	実証	茨城県
4	久慈悦子	名戸ヶ谷病院・看護局長	実証	千葉県
5	木樽京子	つくばセントラル病院・看護部長	実証	茨城県
6	高橋恵美子	つくば病院・看護部長	実証	茨城県

会議名③	実施分科会		
目的・役割	実証講座の評価のとりまとめ		
検討の 具体的内容	<p>・実証講座の企画、設計 開発したモデルカリキュラムや教材を基に、実証講座の実施スケジュール、受講者募集方法、実施科目・内容、最終版コマシラバスの作成、実施時間、担当講師、成績評価方法等を検討し、具体化して実施計画としてまとめる。この実施計画を実施委員会が評価し、承認が得られればそれを基に実証講座の準備、実施に取りかかる。また、必要に応じて実施委員会からの助言を反映させ、実施計画の修正等を行う。</p> <p>・実証講座結果のとりまとめ 実証講座終了後、実施計画とともに、実際に実施した講座内容、実施スケジュール、受講者数・属性、成績評価、キャリアプラン成果物の評価、講師からの講評、アンケート結果、実施した結果明らかになった課題やその改善点、評価すべき点等を取りまとめる。この報告を実施委員会が評価し、承認が得られればこれが事業成果物となる。また、必要に応じて実施委員会からの助言を反映させ、実施報告の修正等を行う。さらに、この実施報告を基に、学び直し講座実施マニュアルの作成を行う。</p>		
委員数	7人	開催頻度	3回

実施分科会の構成員(委員)

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1 高嶋真希子	土浦看護専門学校・副学校長	主査	茨城県
2 川越宏樹	小林看護医療専門学校・理事長	開発	宮崎県
3 前鼻英蔵	札幌医学技術福祉歯科専門学校・理事長	開発	北海道
4 溝道裕子	北九州市小倉看護専門学校・副学校長	開発	福岡県
5 唐沢隆弘	東京リーガルマインド・執行役員	開発	東京都
6 隈本寿一	メディカル・ソリューションズ・ジャパン・代表者	開発	福岡県
7 最上義	福祉教育支援協会・代表理事	評価	埼玉県

本事業では、実施委員会を2回、開発分科会と実施分科会をそれぞれ3回、開催した。

開発分科会では、主としてeラーニング講義および集合研修で使用する教材に関する協議を行った。

(1) 教材開発

学び直し講座の実施モデルを実施するために、前年度に開発した講義映像、講義テキスト、確認テストに加え、集合学習実施のための教材（ピアミーティング資料及びケーススタディ教材）を制作し、教育プログラムのコンテンツを開発した。

・ピアミーティング用資料

ピアミーティングで使用する資料。資料には、課題を提示する他、他の受講者の発言や討議内容をメモしたりできるような形式とした。

・ケーススタディ教材

ケーススタディ集合学習時に使用する教材。ケーススタディ教材は、看護業務の現場を題材として状況を説明する文章と、それを基にした課題を提示し、グループによる討議内容を記入できるような形式とした。

(2)eラーニング講座プラットフォームの設置

講座のモデル実施のために、本校HPに講座サイトを実装し、ログインをパスワードで管理できる形式とした。

(3)受講者評価基準開発

受講者の習熟度評価のために、評価基準を開発した。評価のツールとしては、eラーニングの確認テストの成績や集合学習を経て、学習目標がどの程度達成されたかを科目ごとに5段階評価の方法で自己評価できるものとした。

実施分科会では、主として受講生の募集、受付、eラーニング講義の視聴から集合学習への導入、レポートの回収に関する検討を行った。

eラーニング視聴学習では茨城県内の潜在看護師および就業中の看護師20名を対象として、学び直し講座を実施した。

集合学習については、受講者から事前にケーススタディ用の事例や当該科目に関連する質問を提出させるため、講義視聴後に記入する修了レポートの様式を検討し開発した。実施の日程については、講師と受講希望者の双方へ希望日を確認し決定したが、学び直し講座の実施モデルを評価するために全科目への参加を前提としたため、それぞれ少人数による実施と

なった。実施分科会および委員会では、本プログラムを今後継続する場合は、希望科目のみの受講を認める形で受講生を募る方法がよいとの意見が多く出た。なお、実施にあたっては、本校教室を使用した科目も当初計画にあったが、新型コロナウイルスの感染予防のため、すべてWEB会議形式へ変更した。

受講者の成績評価や講師からの講評、受講者アンケート等の結果を用いて講座の実施結果を評価し、課題を抽出して改善点を検討した。またその結果を踏まえ、開発したモデルカリキュラムや教材等の改善を行った。特に学習時間や回数については、受講側の現実的な問題として、すべてに参加するには時間的に困難であり、希望する科目のみの受講を可能な講座形式とする必要性が明らかとなった。

1.3.2.2開発

開発①：学び直し講座開設のための検討

【目的】潜在看護師の復職支援モデルとなる学び直し講座を開設するために整理が必要な項目について検討し、実施モデルとして構築する。

【概要】受講者募集方法、講座の期間、集合学習の曜日・時間帯、eラーニングのプラットフォーム、復職支援方法等の項目について検討し、1つのモデルとして整理した。

開発②：モデルカリキュラム開発

【目的】学び直し講座で実施する教育内容や教育計画を明確にするために、カリキュラムの構成を検討し、コマシラバスの形で整理し、eラーニングによる知識学習コンテンツを制作する。

【概要】カリキュラムは、1項目をeラーニングによる知識学習と、ピアミーティングとケーススタディからなる集合学習とで構成し、全8項目を設定した。1項目の学習時間は、知識学習が4時間程度、集合学習が2時間程度で、全48時間となる。本事業のモデル実証としての運用では、1週間に1項目を実施して8週間で行うパターンと、2週間で1項目を実施して16週間で行うパターンとを想定した。但し、実質的運用の際には、受講生の時間的制約を考慮し、希望する科目のみを気軽に受講してもらえ形式をとりたい。

2 開発報告

2.1 開発概要

看護師不足に関する 2025 年問題の解決に取り組むために、本事業では、現場復帰意向のある潜在看護師の円滑な復職や新領域への挑戦を支援する教育プログラムを開発・実施し、専門学校が潜在看護師の掘り起こしを促進するモデルを提案する。

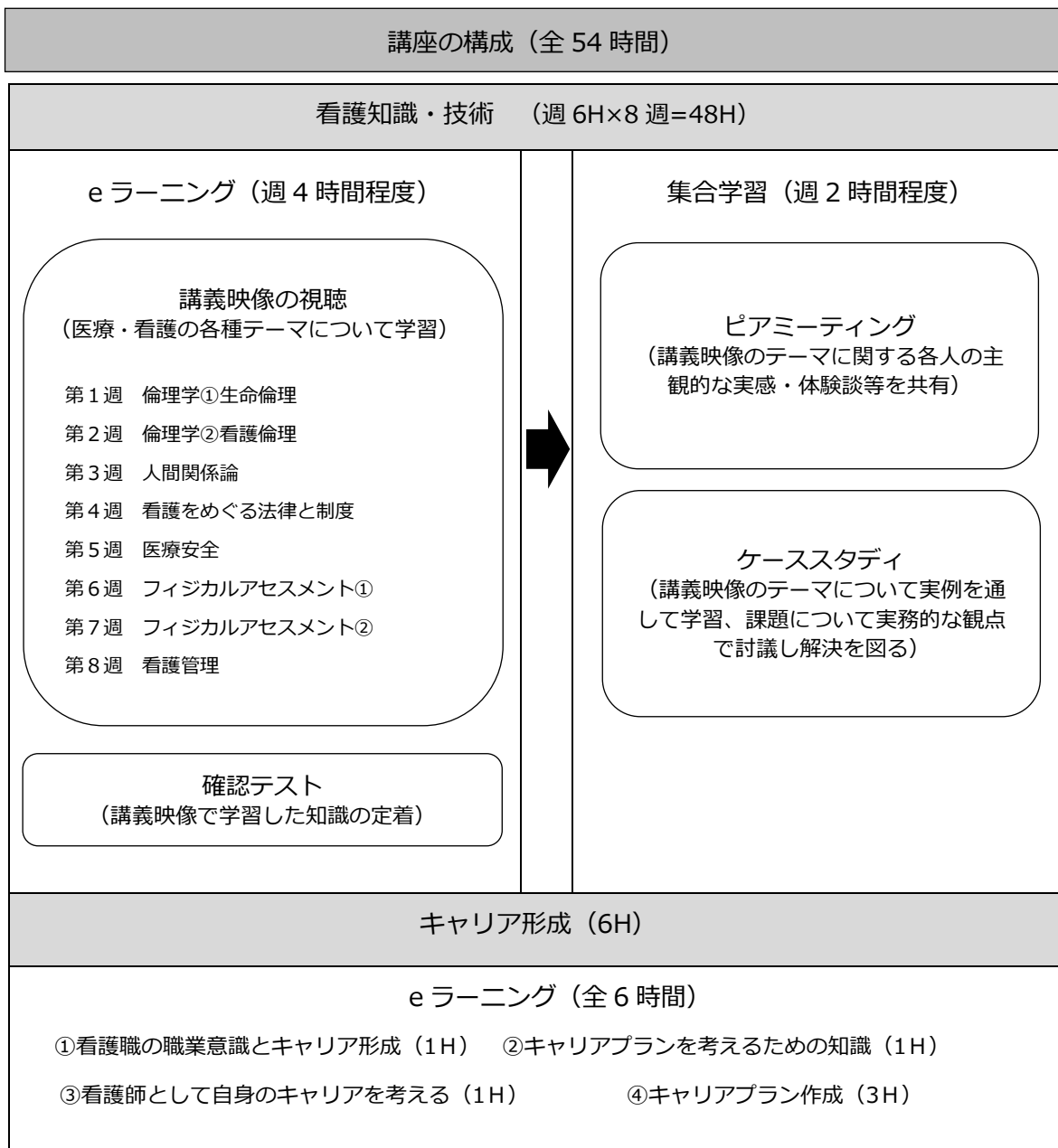
○学び直し講座の概要

本事業で開発・実施する学び直し講座は、3 カ年の事業期間の初年度に実施した看護師が復職する際に必要とする支援内容や学び直し講座に関する受講ニーズ（学習内容、学習形式、学習期間等）に関する調査結果や最新の動向を踏まえ開発したコマシラバスをベースとして、より受講しやすい形式を構成する。

○学び直し講座の構成

本事業で開発する学び直し講座は、e ラーニングを用いた講義映像視聴・確認テスト・キャリアプラン作成（e ラーニング上で提示される課題に順番に取り組みながら自分の将来の看護師キャリアを検討し、最終的にキャリアプランとしてまとめる。課題は、講義映像や集合学習の内容に関連したものが提示される）、集合学習におけるピアミーティング・ケーススタディの組み合わせを 1 つの単位とし、それを繰り返す構成とする。e ラーニングによって学習した内容を基に、集合学習においてディスカッション形式で課題に取り組む反転学習の方式により、より実践的な知識やスキルを身につけることを狙う。

講座の全体構成は以下のとおり。



○学び直し講座の学習テーマ

e ラーニング学習および集合学習のテーマは、下表の科目構成とした。

週	講義映像のテーマ	ピアミーティングテーマ
第1週	倫理学① 生命倫理	生命倫理に関する体験談の共有
第2週	倫理学② 看護倫理	看護倫理に関する体験談の共有
第3週	人間関係論	人間関係に関する体験談の共有
第4週	看護をめぐる法律と制度 社会保障・医療保険	社会保障や社会福祉に関する体験談の共有
第5週	医療安全 医療安全の基礎・感染予防の援助	インシデント・アクシデントに関する体験談の共有
第6週	フィジカルアセスメント① フィジカルアセスメントの基本	全身・頭部～頸部のアセスメントに関する体験談の共有
第7週	フィジカルアセスメント② 系統別フィジカルアセスメント	系統別アセスメントに関する体験談の共有
第8週	看護管理	看護管理に関する体験談の共有

※学習テーマの検討、変更について

平成30年度事業計画時は、看護師の特に新領域分野への参画支援を目的とした教育プログラムの開発実績（学校法人宮崎総合学院 平成27年度文部科学省 成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業）を参考に作成していたが、本事業では初年度において、現場復帰意向のある潜在看護師の円滑な復職支援プログラムの作成を目的に、病院・福祉施設・その他の施設に勤務する看護師及び離職中の潜在看護師を対象としたアンケート調査を実施し、その結果、復職のために受講が望ましい講義テーマとして特に受講ニーズの高かった「倫理学」「看護をめぐる法律と制度」「医療安全」「フィジカルアセスメント」の4つを選んで学習テーマとした。

更に、令和元年度の事業取組として、分科会において担当講師、医療関係者等にヒアリングを行い、アンケートにおいても必要科目としてニーズが高い「人間関係論」と「看護管理」を加える構成とした。

○講師の選定

講義内容にふさわしい講師を以下の通り選定した。

科目	講師	所属・経歴等
倫理学①生命倫理	海山宏之	人間科学センター 茨城県立医療大学
倫理学②看護倫理	高嶋真希子	土浦看護専門学校
人間関係論	矢口大雄	和洋女子大学人文学部心理学科
看護をめぐる法律と制度	前川玉緒	保健師助産師看護師 国家試験対策講師
医療安全	佐藤朋代 関川真由美	土浦看護専門学校 土浦看護専門学校
フィジカルアセスメント ①②	山田千夏	有限会社アリスト
看護管理	竹村華織	社会医療法人ジャパンメディカルアライ アンス 副院長 看護部長
キャリア形成	深澤優子	医療法人社団福寿会 人事部長・看護部長（教育管理担当）

講師に関しては、受講生のレディネスを考慮し、以下の観点から選定した

- ①受講生のレディネスを考慮し、そのニーズに合わせた知識が提供できる、また、グループワークの指導力を持ち合わせている
- ②学習習慣がない、学力の差がある受講生集団に柔軟に対応できる
- ③専門学校や大学等での教育経験があり、近年の看護基礎教育に精通している
- ④管理やキャリアアップに関しては、実際の現任教育にあたってその成果を出している
- ⑤集合学習において、多様な背景の受講生に対応・調整ができる

<講師略歴>

- 倫理学① 海山宏之氏：茨城県立医療大 人間科学センター講師 宗教学、生命倫理、哲学
土浦看護専門学校でも倫理学の講義を務める。茨城県看護教員養成講習会の講師も兼務し、看護基礎教育に理解がある。
- 倫理学② 高嶋真希子：土浦看護専門学校 副学校長。看護理論、看護学概論、看護過程、護研究等の講義にて看護倫理について講義している。

- 人間関係論 矢口大雄氏：和洋女子大学人文学部心理学科助教 臨床心理学、家族心理学
土浦看護専門学校では発達心理学の講義を務める。公認心理師、臨床心理士もあり、学生
の相談にも対応し、看護師の人間関係について理解がある。
- 看護をめぐる法律と制度 前川玉緒氏：保健師・助産師・看護師、国家試験対策講師
国家試験講師として、学習すべき多くの情報をまとめてポイントを押さえ、特に低学力者
層にむけた講義に定評がある。
- 医療安全 佐藤朋代氏：土浦看護専門学校専任教員。安全管理の講習を受け、臨床現場で
は医療安全チームで活躍していた。
- 医療安全 関川真由美氏：土浦看護専門学校専任教員。感染対策、感染管理の講義を担当
している。
- フィジカルアセスメント 山田千夏氏：看護師。フィジカルアセスメントに関するフリー
の講師として活躍している。土浦看護専門学校でもヘルスアセスメント講義でフィジカル
アセスメントの指導を務める。
- 看護管理 竹村華織氏：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス副院長 看護部長
木村看護教育振興財団の海外教育研修に参加後、北里大学看護学部の教員後、家族支援専
門看護師資格取得。その後、北里大学病院勤務を経、海老名総合病院現職。
- キャリア形成 深澤優子氏：医療法人社団福寿会 人事部長・看護部長（教育管理担当）
神奈川県立衛生短期大学(現神奈川県立保健福祉大学)、ボストンの日本人学校で教員とし
て勤務。R&D Nursing ヘルスケア・マネジメント研究所代表としてコンサルティング・研
修(認定看護管理者研修、看護部研修、看護管理者研修等)・講演・執筆等で活躍してい
る。

講師との打ち合わせでは、受講生の背景やレディネスイメージ化が困難であり、教授内容
の具体的な打ち合わせに時間を要した。特に看護をめぐる法律と制度では、実際のニーズを
把握したいとの要望にて、現在、離職・休職中の看護師のヒアリングを実施した。

3 參考資料

3.1 コマシラバス

週	第1週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	倫理学① 生命倫理		
学習目標	職業に関わる生命倫理を学習し、倫理的問題に対する自らの姿勢を決めるための知識を得る。医療に内在する倫理的諸問題を身の回りに見出す能力を向上させる。		
学習内容	eラーニング	1.生命倫理 <ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理（学）とは何か ・倫理の力 ・クリニコスと見守ること 2.どこから人間か <ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖の生命倫理 ・アメリカにおける中絶問題 3.どこまで人間か <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの成立 ・患者の自己決定権の拡大 ・安楽死についての問題 4.先端医療と制度をめぐる生命倫理 <ul style="list-style-type: none"> ・移植医療 ・日本人と遺体（スピリチュアリティ） ・医療資源と医療保険制度 	4時間
	ピアミーティング	生命倫理に関する体験談の共有	1時間
	ケーススタディ	生命倫理に関する諸問題についてのケーススタディ	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『系統看護学講座 別巻 看護倫理』 医学書院		

週	第2週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	倫理学② 看護倫理 ～もういちど押さえておきたい看護倫理～		
学習目標	看護倫理の基本を再確認し、臨床での倫理的問題への主体的な行動化へとつながるための意識を高める。		
学習内容	eラーニング	1. 良い看護、良い看護師とは… ・職業倫理としての看護倫理 ・看護の本質としての看護倫理 ・倫理的判断と道徳的判断 2. 倫理問題ってなんだっけ？ ・倫理原則 ・看護者の倫理綱領 ・倫理原則から看護実践を考える 3. ケアする際の考え方 ・アドボカシー ・責務 ・協力 ・ケアリング ・倫理的な看護実践 4. 看護していて「あれ、おかしいな」と感じる こと ・自分の看護を振り返る ・倫理的感受性を育もう ・倫理的問題を意識するための関わり	4時間
	ピアミーティング	倫理的ジレンマの体験を共有しよう 倫理的感受性を高めよう	1時間
	ケーススタディ	倫理的側面から課題を検討してみよう	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『系統看護学講座 別巻 看護倫理』 医学書院 『看護倫理を教える・学ぶ～倫理教育の視点と方法～』 日本看護協会出版会		

週	第3週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	人間関係論		
学習目標	自己理解を深めるとともに、対人援助職に求められるコミュニケーションスキルについて習得することを目標とする。		
学習内容	eラーニング	1.コミュニケーションとは <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意味 ・コミュニケーションに関する研究 ・コミュニケーションの種類 ・人間関係論の基本的視点 2.自分と他者を理解すること <ul style="list-style-type: none"> ・自分とは何か ・自分を理解すること ・他者を理解すること ・相互理解を深めるために 3.自分の感情と上手に付き合うためには <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをつかむ ・感情・思考・行動バランス ・怒りの感情を知ろう ・怒りと上手に付き合うために 4.さわやかな自己表現 <ul style="list-style-type: none"> ・アサーション度チェック ・アサーション（さわやかな自己表現）とは ・3つの自己表現 ・コミュニケーション技法：DESC法 	4時間
	ピアミーティング	人間関係に関する体験談の共有	1時間
	ケーススタディ	人間関係に関するケーススタディ	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『人を育む人間関係論－援助専門職者として，個人として－』服部祥子 医学書院		

週	第4週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	看護をめぐる法律と制度		
学習目標	社会保障制度の概念と意義を学び、看護活動に直結する法律や制度が近年の社会情勢の変化に対応しようとしているものであることに気づく。また、このことを通じて、社会保障制度の中での、看護職の役割意識を持つ。		
学習内容	eラーニング	1.社会保障のことばに慣れよう 2.自分も患者さんの医療保険の加入者 3.昔とは違う医療保険制度 4.「他・多」機関や職種を紹介できる？	4時間
	ピアミーティング	実際の制度を説明できるように調べてみる	1時間
	ケーススタディ	事例を用いてカンファレンス	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『“中堅どころ”が知っておきたい医療現場のお金の話』 メディカ出版 『国民衛生の動向（最新版）』		

週	第5週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	医療安全		
学習目標	医療事故や医療紛争の具体的な防止策、インシデント・アクシデント事例について再学習し、看護現場での安全確保の視点を養い、事故時の対処ができるようになる。		
学習内容	eラーニング	1.医療安全の基礎① <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する動向 ・組織のマネジメント ・重大事故への対応 2.医療安全の基礎② <ul style="list-style-type: none"> ・エラー・マネジメント ・インシデント・アクシデント ・コンフリクト・マネジメント 3.感染予防 <ul style="list-style-type: none"> ・感染成立の条件 ・感染の除去方法（洗浄・消毒・滅菌、環境整備） 4.感染予防 <ul style="list-style-type: none"> ・感染経路の遮断方法 （スタンダードプリコーション、感染経路別予防策、無菌操作） ・組織における感染管理体制 	4時間
	ピアミーティング	事故防止のロールプレイング 感染予防の演習	1時間
	ケーススタディ	事例を用いて防止策、対応策について検討	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料			

週	第6週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	フィジカルアセスメント① 明日から実践するためのフィジカルアセスメント		
学習目標	看護師として対象者の健康状態を適切に把握し、適正な評価をするため必要なフィジカルアセスメント技術の基礎的な技術を確認する。さらに、アセスメントの精度を高める。		
学習内容	eラーニング	1.看護におけるフィジカルアセスメント ・フィジカルアセスメントとは ・看護に必要な情報を集めるときによくある失敗 ・臨床推論力を育むための道筋 2.バイタルサインを手がかりにした臨床推論 ・呼吸 ・脈拍 ・体温 ・血圧 ・意識 3.一般状態観察の品質向上 ・口腔内のアセスメント ・腹部のアセスメント	4時間
	ピアミーティング	検温の場面でのアセスメントに関する体験談の共有	1時間
	ケーススタディ	検温の場面でのアセスメントに関する体験談の共有	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『フィジカルアセスメント ガイドブック—目と手と耳でここまでわかる』山内豊明 医学書院 『DVD コンパクト・フィジカルアセスメント～アセスメント思考力と実行力を高める』山田千夏 アリスト		

週	第7週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	フィジカルアセスメント② ～明日から実践するためのフィジカルアセスメント～		
学習目標	看護師として対象者の健康状態を適切に把握し、適正な評価をするため必要な呼吸音・心音のフィジカルアセスメント技術を確認し、アセスメントの精度を高める。		
学習内容	eラーニング	1.呼吸器系フィジカルアセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸音と病変の関係（基礎理解） ・呼吸音分類のコツ ・呼吸副雑音 ・正常呼吸音 ・呼吸音の変調 2.循環器系フィジカルアセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・心電図がなくても循環を評価する方法 ・心音聴診のテクニック ・心雑音の評価 3.フィジカルアセスメント結果を看護に活かす <ul style="list-style-type: none"> ・病名を手がかりに症候を整理する 	4時間
	ピアミーティング	呼吸音や心音のアセスメントに関する体験談の共有	1時間
	ケーススタディ	呼吸音や心音のアセスメントに関する体験談の共有	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料	『フィジカルアセスメント ガイドブック—目と手と耳でここまでわかる』山内豊明 医学書院 『DVD コンパクト・フィジカルアセスメント～アセスメント思考力と実行力を高める』山田千夏 アリスト		

週	第8週		
学習時間	6時間		
学習テーマ	看護管理		
学習目標	看護マネジメントの3つの目的（看護組織が果たすべきミッション、働く人の活かし方、看護と通じた社会貢献）を理解し、看護観を明確にする。		
学習内容	eラーニング	1.看護とマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・「マネジメント」って何だろう？ ・あなたの看護を言語化しておこう 2.中堅看護師に求められる役割 <ul style="list-style-type: none"> ・中堅看護師への期待と役割 ・信頼されるリーダーとは 3.看護サービスのマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・看護の質とは ・看護の質の改善 問題解決 4. マネジメントに必要な知識と技術 <ul style="list-style-type: none"> ・家族アセスメント ・家族アセスメント 事例 ・家族アセスメント 組織への応用 	4時間
	ピアミーティング	看護管理に関する体験談の共有	1時間
	ケーススタディ	看護管理を題材としたケーススタディ	1時間
使用教材	講義レジュメは講座サイトにてDL可		
参考資料			

【キャリア形成】(6 時間)

週	-		
学習時間	6 時間		
学習テーマ	キャリアアップ		
学習目標	看護職の就業に関わる諸問題と自身のキャリア形成を考える上で必要な基本知識を理解した上で、自身のキャリアや働き方を深く考え、キャリアプランを作成する。		
学習内容	e ラーニング (講義映像)	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護職の職業意識とキャリア形成 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとキャリア形成の基本理解 ・看護職の職業意識とキャリアー看護職の職業意識やキャリア意識・職業環境の特徴理解 2.キャリアプランを考えるための知識 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決技法の理解と活用方法 ・タイムマネジメントの基本と活用方法 ・セルフコントロールの必要性理解と実践方法 3.看護師として自身のキャリアを考える <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と課題解決型キャリアプランの作成方法 ・タイムマネジメント型キャリアプランの作成方法 	3 時間
	e ラーニング (個人ワーク)	キャリアプラン作成 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題の明確化と解決方法 ・自己のキャリアの目標設定 	3 時間
使用教材	事前配布		
参考資料			

3.2 収録講義

令和元年度 文部科学省教育政策推進事業

「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」成果物

看護 学び直し講座 収録講義 各科目とも 45分講義×4コマ

■ 倫理学① 生命倫理

- 01 クリニコス 見守ること
- 02 どこから人間か 性と生殖の生命倫理
- 03 患者の自己決定権 安楽死
- 04 先端医療と制度をめぐる問題

講師：海山宏之

茨城県立医療大 人間科学センター



■ 倫理学② 看護倫理

- 01 看護倫理 1
- 02 看護倫理 2
- 03 看護倫理 3
- 04 看護倫理 4

講師：高嶋真希子

学校法人桜水会 土浦看護専門学校



■ 人間関係論

- 01 コミュニケーションとは
- 02 自分と他者を理解すること
- 03 自分の感情と上手に付き合うためには
- 04 さわやかな自己表現

講師：矢口大雄

和洋女子大学 人文学部心理学科



■ 看護をめぐる法律と制度

-制度や法律を知らずに損をしない！！自分も患者さんも-

- 01 社会保障のことばに慣れよう
- 02 自分も患者さんも医療保険の加入者
- 03 昔とは違う医療保険制度
- 04 「他・多」機関や職種を紹介できる？

講師：前川玉緒

保健師助産師看護師国家試験対策講師



■ 医療安全

- 01 医療安全の基礎①
- 02 医療安全の基礎②

03 感染予防の援助①

04 感染予防の援助②



講師：佐藤朋代（医療安全の基礎）
学校法人桜水会 土浦看護専門学校



講師：関川真由美（感染予防の援助）
学校法人桜水会 土浦看護専門学校

■ 今だから深めたい！フィジカルアセスメント①

- 01 アセスメントの考え方とコツのブラッシュアップ
- 02 バイタルサイン測定技術と根拠のアップデート（1）
- 03 バイタルサイン測定技術と根拠のアップデート（2）
- 04 もう一歩踏み込んだ、口腔と腹部のアセスメント

講師：山田千夏
有限会社アリスト



■ 今だから深めたい！フィジカルアセスメント②

- 01 呼吸音のお悩み解決（呼吸副雑音）
- 02 呼吸音のお悩み解決（呼吸音の変調）
- 03 心電図なしに循環を評価する
- 04 心音と心不全のアセスメント

講師：山田千夏
有限会社アリスト



■ 看護管理

- 01 看護とマネジメント
- 02 中堅看護師に求められる役割
- 03 看護サービスのマネジメント
- 04 マネジメントに必要な知識と技術

講師：竹村華織
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
副院長 看護部長



■ キャリア形成

- 01 看護職の職業意識とキャリア形成
- 02 キャリアプランを考えるための知識
- 03 看護師としての自身のキャリアを考える
- 04 演習：自分のキャリア目標を考えよう（講義 20分/演習時間 2.5時間）



講師：深澤優子
医療法人社団福寿会人事部長・看護部長
（教育管理担当）
R&D Nursing ヘルスケア・マネジメント研究所代表

3.3 参考資料 実証講座の使用資料

以下、実証講座の実施のため制作したた広告物等を掲載する。

- ・ モニター受講生募集時の広告物
- ・ 講座紹介ページ（ e ラーニング講座ログインページ）
- ・ e ラーニング講座ページ
- ・ 修了レポート例

(参考資料) 文部科学省委託事業 モニター受講生募集時の広告 -表面-

募集中
モニター
受講生

看護学び直し講座

無料

学校法人桜水会
土浦看護専門学校

「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」 看護学び直し講座

学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業



学校法人桜水会土浦看護専門学校では、文部科学省 2020 年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の「学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業」において開発する教育プログラムのモニター受講生を募集いたします。

復職を目指す看護師の方を対象としたアンケート結果を基に、特にニーズの高い科目で構成された e ラーニング講義と集合学習による情報交流の環境を組み合わせた学び直し講座により、専門知識・スキルの向上を図ることができます。

2021 年 2 月までのモデル実施期間中、受講費はすべて無料です。

講座の構成

e ラーニング講義×8 科目

●講義映像（各科目 45 分×4 コマ）の視聴
医療・看護の各種テーマについて学習できます

- 1 倫理学①生命倫理
- 2 倫理学②看護倫理
- 3 人間関係論
- 4 看護をめぐる法律と制度
- 5 医療安全
- 6 フィジカルアセスメント①
- 7 フィジカルアセスメント②
- 8 看護管理

●修了レポートの提出

集合学習×8 科目

科目ごとに、ピアミーティングとケーススタディをテーマとした集合学習を行います

- ピアミーティング（45 分を目安）
講義映像のテーマに関する各人の主観的な実感・体験談等を共有します
- ケーススタディ（45 分を目安）
講義映像のテーマについて実例を通して学習、実務的な観点で討議し課題解決を図ります

※集合学習は、Zoom を利用します
開催は、12 月～1 月を予定しています

e ラーニング講義：キャリア形成

●講義映像の視聴と演習（自学習）

- ① 看護職の職業意識とキャリア形成
- ② キャリアプランを考えるための知識
- ③ 看護師としての自身のキャリアを考える
- ④ 演習：自分のキャリア目標を考えよう

(参考資料) 文部科学省委託事業 モニター受講生募集時の広告 -裏面-

お申込み～受講の流れ

- 受講資格：休職中看護師の復職支援を主眼として開発した講座ですが、現役看護師やこれから看護師を目指す方にもご参加いただけます。
- 受講料：すべて無料です
- eラーニング配信開始：2020年11月24日から講義を視聴いただけます
- Zoom 集合学習開催日：12月～1月開催予定
- 受講申込締切日：2020年11月30日

<1>お申込み方法

土浦看護専門学校HPのお問合せフォームよりお申込みください。



<http://www.tsuchiura-kango.jp/contact/>

必須事項を漏れなくご入力ください。

※「その他」の項目に、必ず「看護学び直し講座受講希望」とご入力ください

—入力見本—

- お問い合わせ内容：資料請求
- 知ったきっかけ：学校ホームページ
- その他：看護学び直し講座受講希望

<2>お申込み受付

講座サイトのログインパスワードをメールでお知らせします

<3>eラーニング受講

講義動画を視聴し、科目修了レポートを作成提出します

<4>Zoom 集合学習への参加

科目ごとに、集合学習（ピアミーティング、ケーススタディ）の実施を予定しています
12～1月にかけて、WEB（zoom）会議式で実施する予定です

お問合せ

学校法人桜水会 土浦看護専門学校「看護学び直し講座」係

Mail: tsuchiura-kango@tsuchiura-kango.jp

(参考資料) 講座紹介 兼 eラーニング講座ログインページ



学校法人桜水会土浦看護専門学校では、文部科学省「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の「学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業」において開発する教育プログラムの受講生を募集いたします。

このカリキュラムは開発段階ではありますが、受講費はすべて無料です。

また、休職中看護師の復職支援を主眼として制作していますが、現役看護師の方の新たな「気づき」として、また、これから看護師を目指す方にもご参加いただけます。

eラーニング講座 (各科目とも45分講義×4コマで構成)

科 目	講 師 / 学習目標	
倫理学①生命倫理	海山宏之	人間科学センター 茨城県立医療大学
	生命倫理に関する基本的な内容を学習し、倫理的問題に気づき、解決するために何をすべきについて考えるための知識を養う。	
倫理学②看護倫理	高嶋真希子	土浦看護専門学校
	看護職に求められる倫理について学習し、倫理的問題に気づき、解決するために何をすべきについて考えるための知識を養う。	
人間関係論	矢口大雄	和洋女子大学人文学部心理学科
	職務満足や高い生産性の要因は1つはよい人間関係であり、社会生活は他者との協力や、他者に援助し、援助される活動で成立している。アイデンティティ（自己確認）の獲得とともに、他者への理解度を高め、コミュニケーションについて学び、円滑な人間関係を築く。	
看護をめぐる法律と制度	前川玉緒	保健師助産師看護師 国家試験対策講師
	社会保障制度の概念と意義を学び、看護活動に直結する法律や制度が近年の社会情勢の変化に対応しようとしているものであることに気づく。また、このことを通じて、社会保障制度の中での、看護職の役割意識を持つ。	
医療安全	佐藤朋代 関川真由美	土浦看護専門学校 土浦看護専門学校
	医療事故や医療紛争の具体的な防止策、インシデント・アクシデント事例に学び、看護現場の安全確保に活用できる知識を養う。	
フィジカルアセスメント①	山田千夏	有限会社アリスト
	フィジカルアセスメントの基本を確認し、系統別のフィジカルアセスメントの技術を高めていく。	

フィジカルアセスメント②	山田千夏	有限会社アリスト
	フィジカルアセスメントの基本を確認し、系統別のフィジカルアセスメントの技術を高めていく。	
看護管理	竹村華織	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 副院長 看護部長
	看護マネジメントの3つの目的（看護組織が果たすべきミッション、働く人の活かし方、看護と通じた社会貢献）を理解し、看護観を明確にする。	
キャリア形成	深澤優子	医療法人社団福寿会 人事部長・看護部長（教育管理担当）
	女性としての職業観を養い、看護職女性の就業に関わる諸問題を理解した上で、看護職女性としての働き方を考え、自身のキャリアプランを作成する。	

「学び直し（モデル実証）講座」受講の流れ

受講資格：どなたでもご受講（視聴）いただけます。

<1> 受講お申込み

土浦看護専門学校お問合せフォームよりお申込みください。

▶ <http://www.tsuchiura-kango.jp/contact/>

必須事項を漏れなくご入力ください。

「その他」の項目に、必ず「看護学び直し講座受講希望」とご入力ください。

－入力見本－

- ・お問合せ内容：資料請求
- ・知ったきっかけ：学校ホームページ
- ・その他：看護学び直し講座受講希望



<2> ログインパスワードをお送りします。

本サイトよりログインしてください。



<3> eラーニング受講

講義動画の視聴し、科目ごとに設置された修了確認レポートを作成し提出します



<4> 集合学習への参加

科目ごとに、集合学習（ピアミーティング、ケーススタディ）の実施を予定しています。

令和2年度は、12～1月にかけて、WEB会議式で実施する予定です。

ログイン

パスワードを
入力してください

login

(参考資料) eラーニング講座ページ

学校法人桜水会
土浦看護専門学校

「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」 看護学び直し講座

学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業



学び直し講座 受講の流れ～

①講義動画の視聴

講義動画を視聴後、確認テストに取り組み、自己採点で習熟度をチェックします

②修了レポートの提出

視聴した科目の修了レポートをダウンロードしてご記入後、下記事務局あてにメール添付にてお送りください。事務局から集合学習開催のご案内をいたします。

③集合学習への参加

科目ごとに、集合学習（ピアミーティング/ケーススタディ）を実施します。2020年度は12月～1月にWEBミーティング型での実施を予定しています。

修了レポートの提出先アドレス ✉ tsuchiura-kango@tsuchiura-kango.jp
(土浦看護専門学校事務局)

テキスト（PDF）：講師が講義中に画面表示するレジュメです。学習確認用としてご利用いただけます。

講義動画：各科目とも約45分×4つの動画で構成されています。

修了レポート：講義視聴後にメールにてご提出ください。事務局からピアミーティング、ケーススタディ（Zoom会議式）の開催予定をお知らせいたします。

Eラーニングコンテンツ

科目名	講師	テキスト/講義動画/修了レポート
倫理学①生命倫理	海山宏之	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input type="checkbox"/> 1 クリニコス 見守ること <input type="checkbox"/> 2 どこから人間か 性と生殖の生命倫理 <input type="checkbox"/> 3 患者の自己決定権 安楽死 <input type="checkbox"/> 4 先端医療と制度をめぐる問題 <input type="checkbox"/> 修了レポート
倫理学②看護倫理	高嶋真希子	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input type="checkbox"/> 1 看護倫理1 良い看護、良い看護師とは… <input type="checkbox"/> 2 看護倫理2 倫理問題ってなんだっけ？ <input type="checkbox"/> 3 看護倫理3 ケアする際の考え方 <input type="checkbox"/> 4 看護倫理4 看護していて「あれ、おかしいな」と感じること <input type="checkbox"/> 修了レポート

人間関係論	矢口大雄	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input checked="" type="radio"/> 1. コミュニケーションとは <input checked="" type="radio"/> 2. 自分と他者を理解すること <input checked="" type="radio"/> 3. 自分の感情と上手に付き合うためには <input checked="" type="radio"/> 4. さわやかな自己表現 <input type="checkbox"/> 修了レポート
看護をめぐる法律と制度	前川玉緒	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input checked="" type="radio"/> 1. 社会保障のことに慣れよう <input checked="" type="radio"/> 2. 自分も患者さんも医療保険の加入者 <input checked="" type="radio"/> 3. 昔とは違う医療保険制度 <input checked="" type="radio"/> 4. 「他・多」機関や職種を紹介できる？ <input type="checkbox"/> 修了レポート
医療安全	佐藤朋代 関川真由美	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input checked="" type="radio"/> 1. 医療安全の基礎① <input checked="" type="radio"/> 2. 医療安全の基礎② <input checked="" type="radio"/> 3. 感染予防の援助① <input checked="" type="radio"/> 4. 感染予防の援助② <input type="checkbox"/> 修了レポート
フィジカルアセスメント①	山田千夏	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input checked="" type="radio"/> 1. アセスメントの考え方とコツのブラッシュアップ <input checked="" type="radio"/> 2. バイタルサイン測定技術と根拠のアップデート (1) <input checked="" type="radio"/> 3. バイタルサイン測定技術と根拠のアップデート (2) <input checked="" type="radio"/> 4. もう一歩踏み込んだ、口腔と腹部のアセスメント <input type="checkbox"/> 修了レポート
フィジカルアセスメント②	山田千夏	<input type="checkbox"/> テキスト <input type="checkbox"/> 確認テスト <input checked="" type="radio"/> 1. 呼吸音のお悩み解決 (呼吸副雑音) <input checked="" type="radio"/> 2. 呼吸音のお悩み解決 (呼吸音の変調) <input checked="" type="radio"/> 3. 心電図なしに循環を評価する <input checked="" type="radio"/> 4. 心音と心不全のアセスメント <input type="checkbox"/> 修了レポート
看護管理	竹村華織	<input type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="radio"/> 1. 看護とマネジメント <input checked="" type="radio"/> 2. 中堅看護師に求められる役割 <input checked="" type="radio"/> 3. 看護サービスのマネジメント <input checked="" type="radio"/> 4. マネジメントに必要な知識と技術 ※ <看護管理> 科目には確認テストおよび修了課題はございません

学習テーマ	キャリア形成
講師	深澤優子
使用教材	📄 テキスト 動画視聴前にダウンロードしてください
講義動画	<ul style="list-style-type: none"> 🕒 1. 看護職の職業意識とキャリア形成 🕒 2. キャリアプランを考えるための知識 🕒 3. 看護師としての自身のキャリアを考える 🕒 4. 演習：自分のキャリア目標を考えよう
キャリアプラン作成 提出は不要です	📄 演習シート

※「キャリア形成」科目は、修了レポートの提出、集合学習の予定はございません。

「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」看護学ひ直し講座

(参考資料)「修了レポート」書式例

集合学習時に講師の事前準備と授業での活用を目的として作成しました

倫理学①生命倫理 修了レポート

氏 名	
確認テスト 実施・採点	自己採点 点/100点(全4回合計)
Eラーニングを受講 して感想や質問がご ざいましたらご記入 ください	
生命倫理に関わったと思われる事例 本科目を受講して、ご自身の経験などから 科目テーマに関連すると思われる事例を挙げてください。	
①事例紹介	
事例概要 (患者情報等) ※氏名は匿名で	
経 緯 (看護の実際) (実施および結果)	<ul style="list-style-type: none">・・・・・
②考察 : 結果の解釈や私的・個人的な意見、今後の課題、疑問点など	

▶ 提出先メールアドレス : ●●●@●●●●●●●●●●

令和 2 年度 文部科学省
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業

成果報告書

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人桜水会 土浦看護専門学校 が実施した令和 2 年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の成果をとりまとめたものです。

発行日：令和 3 年 2 月

発行者：学校法人桜水会 土浦看護専門学校

〒300-0839 茨城県土浦市滝田 1 7 3

TEL 029 (835) 3001 FAX 029 (827) 1002